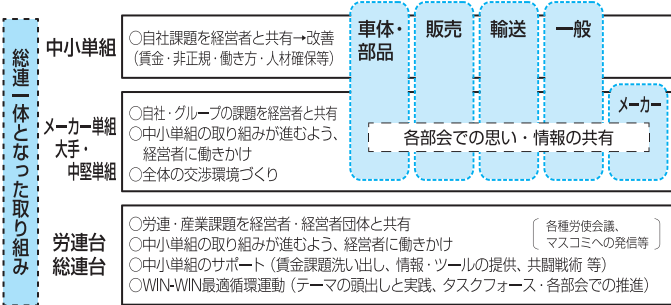


5. 解決日程の早期化

6. 上部団体との連携、自動車総連一体となった取り組み



真の意味での構造転換 企業規模・業種、正規・非正規にかかわらず、産業を支える全ての仲間が、自らの賃金課題を継続的・安定的に改善し、底上げしていける状態を実現

政策・制度課題の取り組み

<具体的な取り組み>

- (1) 自動車総連の取り組み
 - ・ 支援する各党・議員、関係省庁に対する機動的な働きかけ 等
- (2) 労連・単組・地協の取り組み
 - ・ 「ここがポイント！」等を活用した組合員への理解活動 等
- (3) 連合との連携
 - ・ 連合主催の会議体での意見反映や、各種集会への参加 等

取り組みの枠組み

<要求提出日：2月末日まで>

- 拡大戦術会議登録組合 (12組合) は、2月14日 (水) を統一要求提出日とする。
- 車体・部品部門においては、拡大戦術会議登録組合の要求提出後1週間以内 (2月21日(水)まで) に要求提出を完了する。
- 各単組は、要求提出後、ただちに団体交渉を開始する。

<統一交渉日>

- 拡大戦術会議登録組合 (12組合) は、統一交渉日を設定し共闘体制を強化する。
- 交渉の内容は、各単組が決定することを基本に、自動車総連の中央生活闘争委員会や業種別部会を通じて情報の共有化を図る。

第1回 統一交渉日：2月21日 (水)
 第2回 統一交渉日：2月28日 (水)
 第3回 統一交渉日：3月7日 (水)

<ヤマ場の日程>

- 2018年総合生活改善の取り組みにおけるヤマ場の日程については、連合方針、JCM方針を踏まえ、共闘全体の中で最大の成果を引き出すべく、戦術的な日程配置を行うこととする。具体的な日程の確認は、中央執行委員会または中央生活闘争委員会で決定していく。

<闘争機関の設定>

- 具体的な戦術や解決目標等を決定するため、三役及び中央執行委員で構成する「中央生活闘争委員会」を設置する。なお、ヤマ場に向けた開催予定日は下記の通りとする。

第1回 中央生活闘争委員会：2月7日 (水)
 第2回 中央生活闘争委員会：2月26日 (月)
 第3回 中央生活闘争委員会：3月10日 (土)
 ※以降、必要に応じて開催する。

第25回参議院議員選挙 (比例代表) 組織内候補予定者決意表明

いそぎ てつじ 『磯崎 哲史』参議院議員 「職場原点」を活動の基軸とし全力で頑張っていく！

磯崎 哲史プロフィール

生年月日：1969年4月7日生
 出身：東京都 / 血液型：AB型
 モットー：辛いときこそ笑顔を決やさない
 (常に前向きな心でいられるように)
 経歴：
 1993年3月 東京電機大学工学部 機械工学科 卒業
 1993年4月 日産自動車株式会社 入社
 2013年7月 第23回参議院議員選挙 (民主党(当時) 比例代表) 初当選
 【現職】
 参議院：議院運営委員会理事 / 環境委員会委員 / 資源エネルギーに関する調査委員会
 民進党：組織委員会委員長代理
 参議院国会対策委員会委員長代理
 労働組合：全日本自動車産業労働組合総連合会 (自動車総連) 顧問



次期参議院議員通常選挙の組織内候補予定者としてご承認いただき、心より感謝申し上げます。国会議員としての活動は、圧倒的な“数の力”との戦いであり悔しさの連続でした。しかし、真つ当な指摘や問題提起は、必ずや政府・与党の政策に影響を与えることができると考え、これまでの間、皆様に支えていただきながら、職場の声、産業の実態を議会で訴え続けてきました。こうした活動によって、少しずつですが提案が実現される経験を積むこともできました。

今後も働く仲間の皆様と家族の安心のために、「職場原点」を活動の基軸とし全力で頑張る所存です。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。